

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日
3. 業務の範囲	(1) 公民館の利用許可に関すること。 (2) 公民館の維持管理に関すること。 (3) 利用料金の収受に関すること。 (4) 広く市民の生涯学習を推進するために必要な事業を行うこと。

「利用状況」における平均値比とは
当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率。
①指定管理期間1年目 → 前指定管理期間における利用率の平均値
②2年目以降 → 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率)
③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 → 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値

4. 採点表								
評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
1 運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	-	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比(%)=(R6年度4～5月実績)÷(R5年度4～5月の実績) ・大ホール:39.6%(平均値比:88%=39.6%／45.1%) ・研修室1:30.9%(平均値比:72%=30.9%／43.1%) ・研修室2:33.9%(平均値比:81%=33.9%／42.1%) ・和室1:29.4%(平均値比:79%=29.4%／37.2%) ・和室2:21.8%(平均値比:109%=21.8%／20.0%) ・料理実習室:2.5%(平均値比:62%=2.5%／4.0%) 平均値比:82%=利用率26.3%／31.9%(上記①適用)	-	児童館との複合化及び長寿命化のための大規模改修工事に伴い、令和6年6月から7年3月までの10か月間を休館したため、令和6年度の貸部屋の利用は、4～5月の2か月のみ。 なおかつ、定期利用団体には早々に工事期間中の休館と他施設での利用を案内していたため、5月末を待たずに養正公民館を離れた団体も多い。 従って、4～5月の利用率、利用人数は前年度の同時期と比較して82%となるが、上記の背景から、評価対象としない。	-
		②利用人数	-	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比(%)=(R6年度4～5月実績)÷(R5年度4～5月の実績) ・大ホール:1,999人(平均値比:84%=1,999人／2,377人) ・研修室1:824人(平均値比:73%=824人／1,122人) ・研修室2:822人(平均値比:80%=822人／1,033人) ・和室1:593人(平均値比:93%=593人／641人) ・和室2:491人(平均値比:133%=491人／370人) ・料理実習室:28人(平均値比:60%=28人／47人) ・図書貸出:57人(平均値比:23%=27人／252人) 平均値比:82%=利用人数4,814人／5,842人(上記①適用)	-	同上	-
	(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	年次報告書P81～P85 ①多治見市との協働事業 (1)養正元気サロン らくらく筋力アップ体操(17回389人) (2)認知症サポーター養成講座(8人) (3)理学療法士から学ぶ認知症予防(2回65人) ②地域意識醸成事業(地域交流・連携事業) (1)認知症ってなあに(17人) (2)近隣施設連携事業 ・卓球交流会(50人)・弦楽器コンサート(71人)・囲碁将棋交流会(22人) (3)養正校区青少年まちづくり市民会議共催事業 ・みんな集まれ感謝祭(428人)・クリスマスコンサート(76人) ③お茶の時間ですよ(20回419人)うち幼稚園交流(4回)、中学生交流(2回)	仕様書以上 13点	①10か月間の閉館中は、子ども情報センターの事務所を間借りし、同センターの研修室や養正校区内の地域の集会所等に出向いて、多彩なソフト事業を精力的に実施。多世代に向けた地域醸成事業を継続し地域の要望に応じてきた。 ②校区青少年まちづくり市民会議との連携により、公民館との統合で廃止となる坂上児童館へ出向き、児童館事業にも参画。児童館を利用する子どもの様子を把握する機会と捉えて関わりをもつ姿勢がみられた。 ③子ども向けの認知症講座を新規に取り組み、若い世代の学ぶ機会と周知に努めている。また囲碁や卓球等の交流事業では、障害の有無を問わない多世代交流を深化させ、利用者のモチベーション向上を図っている。	13点
	(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P85～P88 1.閉館期間(4～5月) ①「戦争と平和展」記念事業・講話&コンサート(19人) ②ギャラリーようせい(4回) ③利用団体会議兼SNS活用講座 2.休館期間中(6～3月) ①こどもの大学 (1)多工高ものづくり教室(53人)(2)多高サイエンスショー(2回103人) (3)親育ち4・3・6・3たじみプラン SDGs楽しくちぎり絵講座(25人) ②養正大人の大学 (1)声を出す健康法(11回323人)(2)人生100年の体づくり(10回158人) (3)古典講座「枕草子」(2講座9回102人) (5)SDGs正月の寄植え講座(20人) ③受託事業 養正交流センターオープン記念事業(250人)	期待以上 13点	①休館前の2か月間も積極的に事業を開催。特に例年8月に開催する「戦争と平和展」を4月に実施したことで、地域やメディアでの注目も高まり、好循環ももたらした。また、定期利用団体に対してSNS活用講座を開催し、休館中も公民館からの情報発信により定期利用者の活動が継続できるよう努めた。 ②仮事務所を置いた子ども情報センターを活用した連携・交流事業や、他施設や隣接高校との連携などアウトリーチでの公民館事業やサービスの提供に努めた。 ③成人向けの講座では継続の要望が多かった通年事業を中心に講座を開催し、交流センターへのスムーズな移行を図った。	13点
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P90 ①施設内外清掃(毎日)を実施(4～5月) ②大規模改修に伴う事務所移転に向けた不用品の廃棄・整理、清掃を実施。 ③定期除草など環境および衛生面の維持保全。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
		②保守・点検			年次報告書P90 ①開館期間中の法定点検等の適正な実施(4～5月、3月) ②建築基準法に基づく定期検査の実施(4月)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		③保安・警備			年次報告書P91 ①機械警備業務を委託して閉館前日まで毎日実施。 ②機械警備会社の変更と警備内容を充実。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		④小規模修繕			年次報告書P91 ①1件 21,560円の修繕実施(印刷機の排板ガイド交換)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P91 ①朝、夕方、閉館時に巡視。建物の屋内外と第2駐車場を目視点検。 ②公共施設チェックシートの活用、定期点検、法定点検から把握。 ③大雨、大風、降雪など天候不良の前後は予防的視点で対応。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P92 ①市ファイリングシステムに準じて、適正に文書管理。 ②最新情報を共有し、円滑な窓口業務や計画的な掲示などの情報提供。 ③事務所移転に際し最善の注意で資料梱包、運搬、適正保管(協力:学習館)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
			②環境への配慮			年次報告書P92 ①5Sの徹底による安全・安心・快適な施設づくりを実施 ②毎年継続する講座を対象としたSDGsの取組み(寄せ植え講座) ③コピー機はリサイクル機を活用、100%再生紙を使用。 ④SNSを活用し、環境負荷を軽減。 ⑤事務所移転に伴う図書資料のリサイクル配布、自力運搬による他施設への貸出。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			③バリアフリー			年次報告書P92 ①障がい者と健常者の卓球教室交流会の開催 ②転倒事故防止のため動線を確保 ③思いやり駐車場の置や、車いすの児童が講座に参加しやすい環境づくり ④転倒防止対策として、西駐車場スロープと階段にソーラー式照明を設置。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			④備品管理			年次報告書P92 ①利用前、貸出前の備品の点検と整備の実施。 ②利用団体が移動先で使用する備品を貸出。私有備品の計画的な引き取り。 ③事務所移転前の精密機器のメンテナンス実施。ピアノの保管を専門業者へ依頼	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑤個人情報保護			年次報告書P93 ①事業団の情報セキュリティ指針、個人情報保護方針に基づいて実施。 ②業務上収集する利用者情報は必要最低限とし、写真撮影等は事前承諾を得る。 ③裏紙の再利用は、個人情報のない点検済み用紙を使用。 ④個人情報の記載された資料等は、鍵付きキャビネットで保管・管理。 ⑤改修工事期間中は、学習館の協力ものと鍵付き倉庫内にて保管。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし。	事故なし・対応に不備なし 0点	事故なし	0点	
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入15,939,118円÷支出16,757,207円＝95%	100%未満 3点	【参考】令和2年度92%、3年度98%、4年度96%、5年度95% 休館に伴い指定管理料を前年比75%に減額(20,774千円→15,630千円)		3点
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	事業報告書P94～96 ①地域性を考慮した健康づくり講座の実施。 ②新規活動サークルの立ち上げを支援(移転後のサークル) ③各種団体のニーズに対するサポート ・町内会行事(こども神輿、夏祭り、秋祭り等) ・地域祉協と多中輝き隊のベルマーク活動、まちづくり企画隊イベント ・休館を踏まえた定期利用団体への支援(団体会議、SNS講座) ④小中学生や地域ボランティアの活動の場を提供 ⑤認知症に関する講座を若者世代へ開催(高齢福祉課他) ⑥交流センターで講座を希望する講師をが活躍できる企画の立案	期待以上 9点	①地域性もあり健康への関心が高いニーズを受けて、健康・体力づくりをテーマにした事業を積極的に実施。 ②児童・生徒の活動や発表の場を求める学校と連携。子どもたちの地域探究の場として利用しやすい対応に努めている。 ②定期利用団体に対して、工事休館中の活動場所について団体ごとに相談に応じ、活動が停滞しないよう支援。 ③工事休館中も、従来継続してきたサロンや講座を近隣の集会場等を活用して実施。地域住民のまなびの場が失われないよう、努めた。	9点	
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	苦情なし・期待以上 5点	苦情なし	5点	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P95～97 ①大規模改修工事への協力、交流センターへの円滑な移行 ・工事に向けた館内整理、物品廃棄、事務所移転、備品搬出を計画に基づき遂行 ・休館中の定期利用団体の活動場所のアドバイス ・工事中の会議等に出席し、設え、備品選定など指定管理者の立場から提案 ・交流センター化を見据えた職員研修の強化 ②仮事務所での窓口サービスの円滑な継続とアウトリーチ事業の推進 ③子どもの健全育成に向けた地域人材の発掘・育成、ボランティアの活躍、地域・学校との連携強化やより良い関係づくりへの注力	期待以上 13点	①改修工事に向けた準備や工事期間中の工事打合せへの出席、また交流センターとして再開するための準備等を市と協力して実施。 ②5月までの開館中だけでなく、休館中も地域との連携や地域の施設を利用し、地域のニーズを汲み取った事業を展開。 ③地域ボランティア育成や地域活動を牽引する人材の発掘・育成を通して、地域との協働活動が積極的に取り組まれている。	13点		
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし。	遅れ・不備なし 減点なし	不備なし	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	指示等なし	0点		
合計				90	【4段階評価】 極めて良好 100点満点 → 90点満点 良好 100～85点 90～76点 84～65点 75～58点 努力が必要 64～45点 57～40点 取消し等を検討 44点以下 39点以下	全体的な評価 ①4～5月の通常開館から6月以降の仮事務所での事業運営まで、地域とのつながりを絶やさずことなく多くの事業を企画運営し、また利用団体が7年度から同じ場所で活動が再開できるよう支援を続けてきた。 ②改修工事に伴う休館の準備や工事に対する施設管理者としての提案、施設再開に向けた準備などソフト事業の継続と平行して工事への協力がなされた。			極めて良好	